

● 令和7年度 第3回 講演会 『子どもの悪性新生物（白血病）』 ●

講 師：広島赤十字原爆病院 小児科 川口 浩史 先生

実施日時：令和7年9月17日（水）14：00～15：30

会 場：ハイブリッド開催（ZOOM 使用）（広島県庁農林庁舎・難病対策センター）

対 象 者：白血病などのこどもの家族、支援関係者、関心のある方

参 加 者：家族1名、養護教諭2名、学生3名、患者会1名（計7名）

担当：西部保健所広島支所

● 講演内容

- ① 子どものがん
- ② 子どもの白血病
- ③ 治療後のこと、晩期障害について
- ④ 最近の話題



● アンケート結果より

<参加された方の感想>

「白血病の方の支援について詳しく知ることができてよかったです」

「復学する際に伝えることについて印象に残りました」

「医療者側からと本人からも丁寧に説明することが両方必要だと学ぶことが出来て良かった」

「貴重なご講義をありがとうございました」

「最新の治療薬など大変勉強になりました」

● 担当者より一言

今年度の小児がんの講演会は申し込みが少なめでやや寂しい会となりました。分かりやすい事例紹介から小児がんのネットワーク、白血病の全体的なお話や骨髄バンクの話題、新しい治療や情報源に至るまで貴重なお話を丁寧に説明頂きました。長期フォローアップのお話は治療を終えたお子さんには大変重要な課題になると興味深く聞かせて頂きました。がんの子どもを守る会の会員さんからも体験談や退院後のお話を聞かせて頂き、参加者の皆さんには学びの多い講演会になったかと思われます。